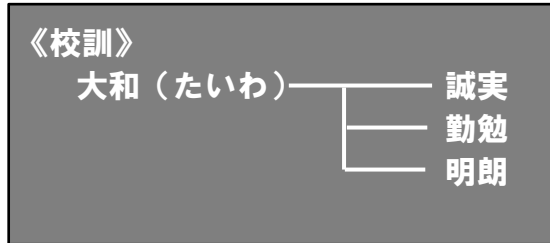


平成30年度
弥富市立弥富中学校学校経営方針

H30. 4. 2

教育目標

心豊かで自ら学び、心身ともにたくましい生徒の育成をめざす（生きる力の育成）



《めざす生徒像》

- 自他の命を尊重し、人間性豊かな生徒
- 深く考え、自ら学び、自己を高める生徒
- 積極的に心身を鍛え、共に生き抜く生徒
- 地域に目を向け、郷土を愛する生徒

学校経営方針

弥富市学校教育基本方針

- 生徒の「生きる力」の育成、それを支える学校の教育力向上を図る
- 生徒の成長を支える環境整備、信頼と魅力ある学校づくりを推進する



<行動指針>

「当たり前前」の事を当たり前前」

- ・当たり前前」の事が当たり前前」できるように指導の継続・徹底を図ろう
- ・厳しさと温かさの指導に心がけよう

「一人一人を大切に」

- ・子どもの目線に立って、師弟同行の姿勢で子どもに接しよう
- ・子どものもつ個性を大切に、一人の人間として認めよう

「個の力を結集したチーム力を」

- ・少経験者を育てる場を意図的に設定し、“教師力の伝承”をすすめてよう
- ・互いの長所短所を補完し合える教師集団をめざそう

「地域とともに」

- ・家族、地域と一体となって子育てを進めよう
- ・数十年先に、地域貢献（社会の発展に尽くす）できる人間の育成をめざそう
- ・地域に信頼され、開かれた学校づくりを進めよう

「不易と流行を見極めて」

- ・弥富中に流れる教育の伝統を大切にしよう
- ・「時を守り、場を清め、礼を正す」等、基本的生活習慣の徹底に努めよう
- ・新しい教育の方向をさぐり、その実現に努めよう

本年度の重点努力目標

確かな学力の育成

- (1) 研修、研究を深め、魅力ある分かる授業の追究
 - ・ 授業研究を通し、指導法、教材研究等の実践研究に取り組み、生徒の学力の向上を図る。
 - ・ 「ともに高め合う」場をすべての教科で設定し、実践研究する。

- ・ 家庭学習の習慣化、定着化を図る。

(2) 個に応じた指導の推進

- ・ ティームティーチングや少人数指導を取り入れ、基礎基本の定着を図る。
- ・ 必要に応じて個別指導の場を設定する。

豊かな心の育成

(3) 道徳教育の充実

- ・ 多様な価値に気付き、仲間と学び合うことで、よりよく生きる生徒を育成する。
- ・ 道徳の教科化に向けての研究を推進する。

(4) 特別支援教育の個を大切にした指導の充実

- ・ 特別支援教育の視点を取り入れた授業のユニバーサルデザインを推進する。
- ・ 支援を要する生徒への手立てや関係機関との連携を図る。

(5) 生徒指導の充実

- ・ 基本的な生活習慣の育成（あいさつ、掃除、人助け）と相談活動の充実を図る。
- ・ 自己肯定感を育み、自他の命を大切にすることを育てる。
- ・ 情報を共有化することで生徒理解を深め、子どもたちの発する小さなサインを見逃さないよう心がける。

健康な心身の育成

(6) 防災を含めた安全指導の充実

- ・ 地域の特性を考慮した避難訓練などを通し、社会に貢献できる人材を育成する。

(7) キャリア教育の充実

- ・ 体験や見学等の学習を通し、自己の生き方や可能性を考えることができる生徒を育成する。

(8) 自主的で自治的な生徒の育成

- ・ 生徒会活動やさまざまな行事、部活動などを充実させ、集団生活における規律と温かい人間関係の育成を図る。

信頼される学校づくり

(9) 安心、安全な居場所づくり

- ・ 学校が子どもたちにとって安心な場所であるよう、ハード・ソフト両面の充実を図る。

(10) 開かれた学校づくり

- ・ 積極的に情報を発信し、地域に愛される学校をつくる。
- ・ 学校評価の実施及び分析を通して、開かれた学校をつくる。

働きやすい職場づくり

(11) 心身の健康保持

- ・ 衛生推進者をおき、学校職員の心身の健康に努める。
- ・ 勤務時間の適正な管理に努め、定時退校日等の有効活用により心身の健康の保持に努める

(12) 業務改善の推進

- ・ 行事や諸会議を精選する。
- ・ 学校内外の専門スタッフや関係機関との連携を深め、教職員の負担を軽減し、その時間を教材研究や子どもと向き合う時間に活用する。